

九州・沖縄地区の「サービス業」倒産動向調査（2024年）

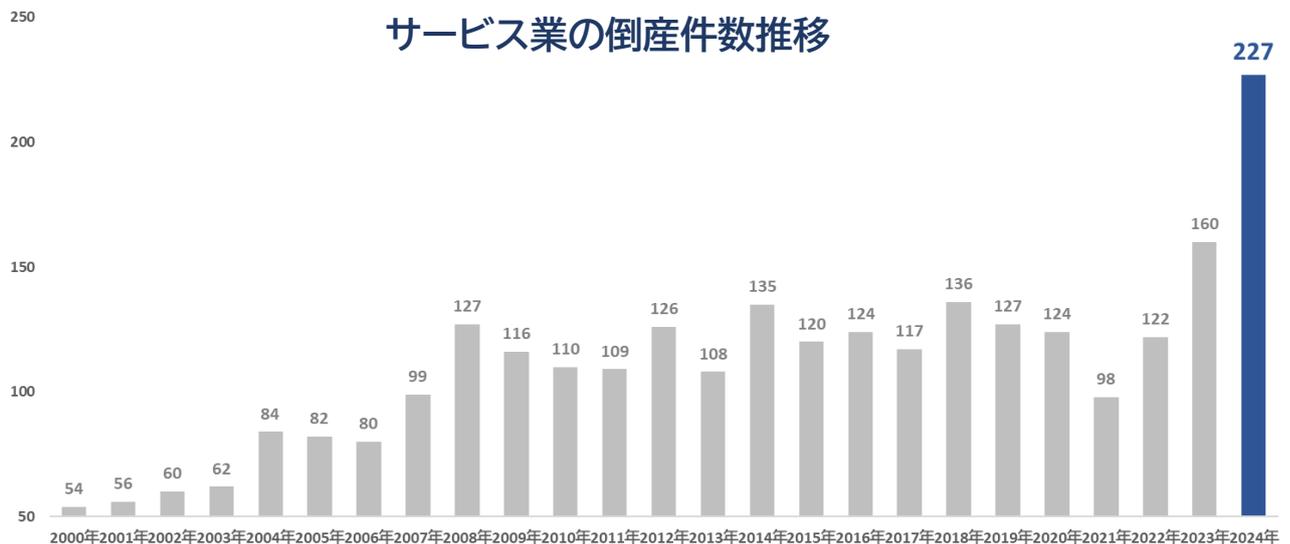
サービス業の倒産が2000年以降で過去最多

『広告代理業』『あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師の施術所』が大幅増

2024年九州・沖縄地区のサービス業の倒産が227件発生。2000年以降で最も多かった2023年（160件）を41.8%（67件）上回り、はじめて200件を超え、過去最多となった。

業種別では、『老人福祉業』の22件（前年14件、57.1pt増）が最多、『美容業』17件（同12件、同41.7pt増）『広告代理業』11件（同2件、同450.0pt増）『受託開発ソフトウェア業』11件（同6件、83.3pt増）が2桁で続いた。以下、『経営コンサルタント業』9件（同11件、同18.2pt減）『あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師の施術所』9件（同3件、200.0pt増）となった。なかでも、『広告代理業』『あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師の施術所』の増加が際立っている。

背景にはコロナ禍に減少した売上が戻らないなか、ゼロゼロ融資などの返済負担も加わり、資金繰りが限界に達したことなどが考えられる。また、経営者の高齢化や健康問題を理由に継続を断念し、過剰債務などを理由に法的整理を選択するケースも一定数あり、サービス業の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。



株式会社帝国データバンク福岡支店情報部

TEL: 092-738-7779 FAX: 092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。